

△アノーロエリプタ吸入用 [外]

【重要度】 【一般製剤名】 ウメクリジニウム 臭化物 (LAMA) / ビランテロール トリフェニル酢酸塩 (LABA) Ueclidinium Bromide (UMEC) / Vilanterol Trifenatate (VI) 【分類】 吸入気管支拡張剤 [LAMA+LABA]

【単位】 △7 吸入用・△30 吸入用

【常用量】 1日1回, 1吸入 [1吸入あたりウメクリジニウム 62.5 μg+ビランテロール 25 μg]

【用法】 なるべく同じ時間帯に吸入 [強く深く吸入]

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1) 重度腎機能低下例では U の Cmax は 2% 低下, AUC は 10% 増加, V の Cmax は 3% 増加, AUC は 21% 増加 (1)

【特徴】 COPD 治療薬吸入剤

【主な副作用・毒性】 頭痛, 口腔乾燥, 咳, 味覚異常, 心房細動, 咽頭炎, 頻脈, 便秘など

【安全性に関する情報】 誤って内服しても薬理作用は認められない (1) 過度の使用により不整脈, 心停止等が発現するおそれあり, 1日1回を超えて使用しない (1)

【吸収】 U: 経口では吸収率が低く, 初回通過効果が大きい, V: 経口初回通過効果を受けるが吸入ではその割合は小さい (1) U の ka=39.1/hr [吸入] (1)

【F】 U: 12.8%, V: 27.3% [吸入] (1)

【tmax】

【代謝】 U: CYP2D6 で代謝, V: CYP2D6 で代謝 (1) U: O-脱アルキル化体の活性は低いが, 水酸化体の活性は未変化体と同程度 (1) V: 主代謝物に活性はない (1)

【排泄】 U: 糞便中に静注で 58%, 経口で 92% 回収 [192hr まで], 尿中に静注で 22%, 経口で 1% 未満回収 [168hr まで] (1) V: 糞便中に 21.2%, 尿中に 50.4% 回収 (1) P-gp の基質 (1)

【CL/F】 U: 218L/hr, V: 134L/hr [吸入] (1)

【t1/2】

【蛋白結合率】 U: 88.9%, V: 93.9% (1)

【Vd】 U: 86L/man, V: 165L/man [iv] (1)

【MW】 ウメクリジニウム臭化物 508.49 / ビランテロールトリフェニル酢酸塩 774.77

【透析性】 資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【OW 係数】

【相互作用】 QT 延長を起す可能性のある薬剤との併用注意 (1) CYP3A4 阻害剤によりビランテロールの血中濃度上昇のおそれ (1) P-gp の基質 (1)

【更新日】 20231213

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。